

# お取引先データ交換 仕様説明書

\* \* 発注データ編 \* \*  
兼

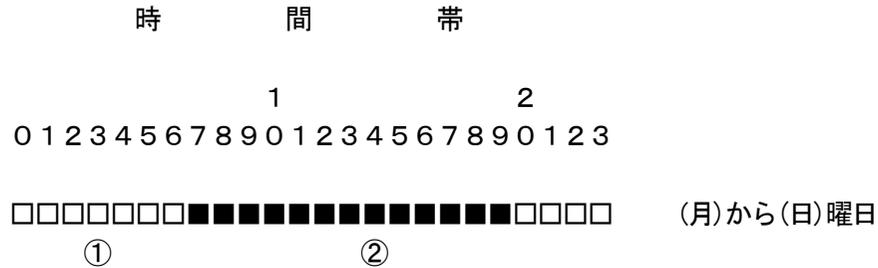
\* \* 納品報告データ編 \* \*

2004年 5月 第3版 【E03】

北辰商事株式会社 システム部

1. データ交換システムの運用  
お取引先との運用を円滑に図るためデータ交換における運用方法を以下のように定めます。

1. 1 運用時間



① 20時 ~ 7時      □ : 接続不可      原則、接続が出来ない時間帯です。  
② 7時 ~ 20時      ■ : 接続可能      当社がお取引先に接続を保証している時間帯です。

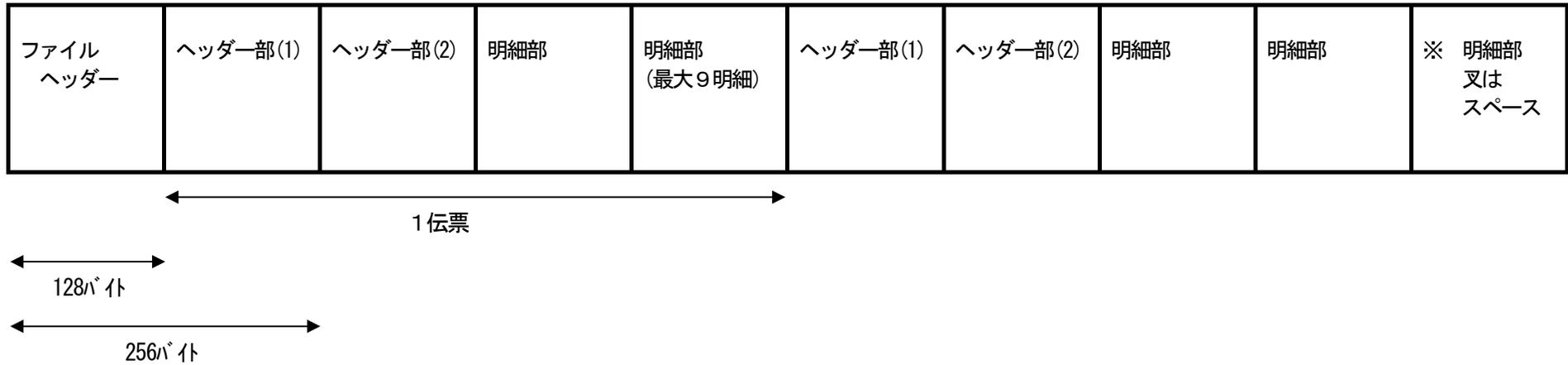
①②いずれの場合もセンタが正常に運用されている場合とします。

1. 2 運用規則

- ① 発注データの送信要求は、お取引先起動とします。
- ② 未配信の発注データは、次回の発注処理後のものに併合致します。
- ③ 回線エラーなどで発注データの集信が異常終了した場合、再送要求を行うものとします。  
この場合、データの途中からではなく先頭から再集信を行うものとします。
- ④ 運用時間に変更がある場合、文書にて連絡致します。

## 2. 発注データの内容について

### 2. 1 発注データの構成



最終ブロック (256バイト) がショートブロック (128バイト) の場合、スペースが設定され256バイトのデータになります。

### 2. 2 発注データの内容

内容について、その詳細を説明します。



ヘッダ一部(1)				
項番	項目名	属性	桁数	内容
①	レコード区分	文字/X	1	“H”が記録されています
②	レコード種別	文字/X	2	“01”が記録されています
③	伝票番号	文字/X	7	納品伝票の伝票番号が記録されています
④	行番号	文字/X	2	“00”が記録されています
⑤	発注番号	文字/X	3	発注番号が記録されています
⑥	取引先コード	文字/X	8	お取引先のコード番号が記録されています
⑦	締日	文字/X	2	お取引先への支払方法が記録されています “00”=日払 “10”=週払 “20”=旬払 “30”=月払
⑧	取引区分	文字/X	2	お取引先への取引区分が記憶されています “11”=仕入 “12”=返品 “13”=値引
⑨	業態コード	文字/X	3	業態のコード番号が記録されています
⑩	店舗コード	文字/X	3	店舗のコード番号が記録されています
⑪	部門コード	文字/X	2	部門のコード番号が記録されています
⑫	中分類コード	文字/X	2	中分類のコード番号が記録されています
⑬	伝発割当コード	文字/X	2	伝発割当のコード番号が記録されています
⑭	発注年月日	文字/X	8	お取引先への発注日が西暦(YYYYMMDD)で記録されています
⑮	納品年月日	文字/X	8	納品先への納品日が西暦(YYYYMMDD)で記録されています
⑯	センター納品年月日	文字/X	8	センターへの納品日が西暦(YYYYMMDD)で記録されています
⑰	センター納品時間	文字/X	6	センターへの納品時間が24時間表示(HHMMSS)で記録されています
⑱	便区分	文字/X	1	便の判別が記録されています “1”=定番1便 “2”=定番2便 “3”=定番3便 “4”=特売1便 “5”=特売2便 “6”=特売3便 “7”=DC通常便 “8”=DC直送便 “9”=DC緊急便 “0”=DC特殊便
⑲	納品区分	文字/X	1	納品方法が記録されています “0”=直納 “1”=TC1 “2”=TC2 “3”=TC3 “4”=TC4 “5”=DC1 “6”=DC2 “7”=DC3 “8”=DC4 “9”=その他
⑳	予備	文字/X	57	スペースが記録されています





### 3. 伝票発行

#### 3. 1 伝票発行要領について

当社、発注データを基に、お取引先において伝票発行をしていただきます。（チェーンストア統一伝票Ⅱ型を使用）  
伝票発行は、当社、発注データの内容をいっさい変更せずに実施して下さい。但し、発注数は、発注数以内に限り、変更を可能といたします。  
尚、商品の数量不足及び欠品等で発注数分納品出来ないときは、発行した伝票を指定の方法に従って訂正したうえで納品して下さい。

#### 3. 2 伝票発行編集内容

出力項目の位置は、添付資料『チェーンストア統一伝票タイプⅡ型』を参照とする。

(1) ヘッダ1の編集内容を以下に示す。尚、何も指定が無ければ入力項目はヘッダ一部とする。

項番	入力項目名	出力項目名	桁数	編集内容詳細
1		①A欄 下段	3	“EOS” と設定します
2	⑤発注番号 /ヘッダ-(1)	②B欄 下段	3	入力項目を設定します
3	⑥業態名(加) /ヘッダ-(2)	③D欄 上段/業態名	15	入力項目を設定します
4	⑨部門名(加) /ヘッダ-(2)	④D欄 中段/部門名	10	入力項目を設定します
5	⑩中分類名(加)/ヘッダ-(2)	⑤D欄 下段/中分類名	10	入力項目を設定します
6	⑧取引区分 /ヘッダ-(1)	⑥取引区分名	5	入力項目が“11”の場合、空白 “12”の場合、“返品” 又は“返品” “13”の場合、“値引” 又は“値引”を設定します また、“12”及び“13”の場合 伝票印刷済の 仕入伝票①の 仕入 の文字を“=”で重ねて2行印字し 消し込んで下さい
7	⑱便区分 /ヘッダ-(1)	⑦E欄 上段	12	入力項目が“1”の場合、“デバ1ビ” 又は“定番1便” “2”の場合、“デバ2ビ” 又は“定番2便” “3”の場合、“デバ3ビ” 又は“定番3便” “4”の場合、“トバ1ビ” 又は“特売1便” “5”の場合、“トバ2ビ” 又は“特売2便” “6”の場合、“トバ3ビ” 又は“特売3便” “7”の場合、“DCツギヨビ” 又は“DC通常便” “8”の場合、“DCチヨクビ” 又は“DC直送便” “9”の場合、“DCキンキョビ” 又は“DC緊急便” “0”の場合、“DCトクビ” 又は“DC特殊便”を但し、左記以外はスペースを設定します

項番	入力項目名	出力項目名	桁数	編集内容詳細
8	⑬納品区分 /ヘッダ-(1)	⑧E欄 中段	14	入力項目が“0”の場合、“チョコラ” 又は“直納” “1”の場合、“TC1/ウヒ” 又は“TC1納品” “2”の場合、“TC2/ウヒ” 又は“TC2納品” “3”の場合、“TC3/ウヒ” 又は“TC3納品” “4”の場合、“TC4/ウヒ” 又は“TC4納品” “5”の場合、“DC1/ウヒ” 又は“DC1納品” “6”の場合、“DC2/ウヒ” 又は“DC2納品” “7”の場合、“DC3/ウヒ” 又は“DC3納品” “8”の場合、“DC4/ウヒ” 又は“DC4納品” “9”の場合、“ソノタ” 又は“その他” を但し、左記以外はスペースを設定します
9	⑭センター納品年月日 /ヘッダ-(1)	⑨E欄 下段・左	6	入力項目の 下位6桁 を設定します。 YY/MM/DD 年月日の年下位2桁及び月の間と月及び日の間は“/”を設定します 但し、ヘッダ一部(1)の納品区分が“0”=直納の場合、⑨⑩は設定しません
		⑨E欄 下段・左右間		“-”を設定します
10	⑮センター納品時間 /ヘッダ-(1)	⑩E欄 下段・右	6	入力項目の上位4桁を設定します HH:MM 時間の時及び分の間は“:”を設定します

(2) ヘッダ2の編集内容を以下に示す。尚、何も指定が無ければ入力項目はヘッダ一部とする。

項番	入力項目名	出力項目名	桁数	編集内容詳細
1	⑦企業名(カ)/ヘッダ-(2)	①社名	20	入力項目を設定します
2	⑧店舗名(カ)/ヘッダ-(2)	②店名	20	入力項目を設定します
3	⑥取引先コード/ヘッダ-(1)	③社コード	2	入力項目の 上位2桁 を設定します
4	⑩店舗コード /ヘッダ-(1)	④店コード	2	入力項目の 下位2桁 を設定します。又、③④間は、“-”を設定します
5	⑪部門コード /ヘッダ-(1)	⑤分類コード・左	2	入力項目を設定します
6	⑫中分類コード/ヘッダ-(1)	⑥分類コード・右	2	入力項目を設定します
7	⑧取引区分 /ヘッダ-(1)	⑦伝票区分	2	入力項目を設定します
8	③伝票番号 /ヘッダ-(1)	⑧伝票番号	7	入力項目を設定します。
9	⑥取引先コード/ヘッダ-(1)	⑨取引先コード	6	入力項目の 下位6桁 を設定します。
10	⑥取引先コード/ヘッダ-(1)	⑩取引先名/上段	8	入力項目を設定します
11	⑤取引先名 /ファイルヘッダ	⑪取引先名/中段	20	入力項目を設定します
12	⑥電話番号 /ファイルヘッダ	⑫取引先名/下段	13	入力項目を設定します
13	⑭発注年月日/ヘッダ-(1)	⑬発注日	6	入力項目の 下位6桁 を設定します
14	⑮納品年月日/ヘッダ-(1)	⑭納品日	6	入力項目の 下位6桁 を設定します
15	⑯便区分 /ヘッダ-(1)	⑮便	1	入力項目を設定します

(3) ボディーの編集内容を以下に示す。尚、何も指定が無ければ入力項目は明細部とする。

項番	入力項目名	出力項目名	桁数	編集内容詳細
1	⑭商品名(カ)	①品名・規格/上段	25	入力項目を設定します
3	⑮規格(カ)	②品名・規格/下段・左	16	入力項目を設定します
4	⑯メーカー名(カ)	③品名・規格/下段・右	8	入力項目を設定します
2	⑤商品コード	④商品コード/上段	8	入力項目を設定します
5	⑥JANコード	⑤商品コード/下段	13	入力項目を設定します
6	⑧発注単位数	⑥色/入数	5	入力項目を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
7	⑪発注数(ケース)	⑦サイズ/ケース	5	入力項目を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
8	⑨物流単位名	⑧単位	2	入力項目を設定します
9	⑩発注数(バラ)	⑨数量	5	入力項目を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
10	⑲欠品理由コード	⑩引合/区分・左	2	欠品が発生しなかった場合は入力項目を設定します。 欠品が発生した場合、お取引先側理由の場合“01”を、当社側理由の場合“99”を各々設定します
11	⑦PLU区分	⑪引合/区分・右	1	入力項目が“0”の場合、“P” “1”の場合、スペースを設定します
12	⑫原単価	⑫原単価	8	入力項目を設定します。但し、小数点部2桁を除き、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
13		⑬原価金額	9	発注数量(バラ)×原単価(切捨て)を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
14	⑬売単価	⑭売単価	6	入力項目を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する 尚、取引区分が“13”値引の場合は設定しません
15		⑮備考(売価金額)	9	発注数量(バラ)×売単価を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する 尚、取引区分が“13”値引の場合は設定しません
16		⑯品名・規格/下段	25	印刷行数が9行に満たない場合、最終印刷行の次の行の下段に “**ヨウニ キニウ シテ ガ サイ**”を設定します

(4) テイルの編集内容を以下に示す。尚、何も指定が無ければ入力項目はヘッダ一部とする。

項番	入力項目名	出力項目名	桁数	編集内容詳細
1		①F欄/上段	10	“ソウゼイハ”を設定します
2		②F欄/下段	10	“フカレオリセ”を設定します
3	⑦締日/ヘッダ-(1)	③H欄 下段	12	入力項目が “00”の場合、“*ヒバリ*”又は“*日払い*” “10”の場合、“*ユウバリ*”又は“*週払い*” “20”の場合、“*ジユンバリ*”又は“*旬払い*” “30”の場合、“*ツキバリ*”又は“*月払い*”を但し、左記以外はスペースを設定します
4		④原価金額合計	9	ボデイの原価金額の合計を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する
5		⑤売価金額合計	9	ボデイの売価金額の合計を設定します。但し、有効数字の前ゼロを前スペースに編集する 尚、取引区分が“13”値引の場合は設定しません
6		G欄		お取引先にて自由に使用して下さい
7		I欄、J欄、K欄、L欄		使用しないで下さい

### 3. 3 数量訂正の方法

#### (1) 機械で実施する場合

- ① 発注数量よりも大きい数値は入力出来ないようにチェックをかけて下さい。
- ② 伝票上の“数量、原価金額、備考（売価金額）、原価金額合計、売価金額合計”の欄を“=”で重ねて印字して下さい。
- ③ 伝票上の“訂正後数量”の欄に納品可能な数量を印字して下さい。
- ④ 伝票上のボディ一部“原価金額”の上段欄に訂正後数量で再計算した原価金額を印字して下さい。
- ⑤ 伝票上のボディ一部“備考（売価金額）”の上段欄に訂正後数量で再計算した売価金額を印字して下さい。
- ⑥ 伝票上のテイル部“訂正後原価金額合計”、“訂正後売価金額合計”で再計算した各々の金額を印字して下さい。

#### (2) 手書きで実施する場合

- ① 発注数量よりも大きい数値は記入しないで下さい。
- ② 伝票上の“数量、原価金額、備考（売価金額）、原価金額合計、売価金額合計”の欄を二重線で消して下さい。
- ③ 伝票上の“訂正後数量”の欄に納品可能な数量を記入して下さい。
- ④ 伝票上のボディ一部“原価金額”の上段欄に訂正後数量で再計算した原価金額を記入して下さい。
- ⑤ 伝票上のボディ一部“備考（売価金額）”の上段欄に訂正後数量で再計算した売価金額を記入して下さい。
- ⑥ 伝票上のテイル部“訂正後原価金額合計”、“訂正後売価金額合計”で再計算した各々の金額を記入して下さい。
- ⑦ 訂正個所に訂正印を押下して下さい。

4. テスト用接続センター情報  
 テスト時間帯は、 1. 1 運用時間 の 接続可能時間帯 を利用して下さい

項番	項目名	設定内容	備考欄
1	センターコード	888888	
2	ID	AA	
3	データ種別	21	
4	取引先コード	02777991	本番時はお取引先に割当てられたものを設定致します
5	識別子	277799	本番時はお取引先に割当てられたものを設定致します
6	センター名	ロチャース	
7	電話番号	048-859-6457 (2400) 048-859-6452 (9600)	
8	BLKサイズ	256	

5. テスト結果検証方法及び問合せ先

**添付資料の内容と、お取引先での結果を確認後**、下記まで検収をファックスにて依頼して下さい。

ファックスする時は**テスト印刷された伝票は、1枚毎にA4サイズ横1枚に収め、全伝票分を送信**して下さい。

尚、検収依頼時は、連絡先（電話番号、担当者名）を明記します。

テスト結果検収依頼先

北辰商事株式会社 システム部  
 048-840-0066 (一般)  
 048-840-0099 (FAX)  
 検収担当 : 遊佐 迄

6. 添付資料

(1) 『データ交換に関する費用』

(2) 『チェーンストア統一伝票ターナラウド II 型』・・・HP●取引業者様用資料 (3) データ交換仕様説明書（発注編\_印刷様式）をDownloadして下さい

(1) 『データ交換に関する費用』について以下に示す。

項番	データの名称	月 額 基 本 料 金			1行当たりの データ処理料	回線開設料	備考欄
		3000万以下	3~5000万	5000万以上			
1	発注データ/EOS	5,000円	10,000円	15,000円	2円		
2							
3							
4							
5							

(補足説明)

- ① 月額基本料金は、4月から翌年3月迄の当社で把握している『純仕入金額（返品及び値引をマイナスした金額）』より設定し、有効期間は、5月から翌年4月迄の間とし、毎年見直しを致します。
- ② 支払は、お取引先に対する当社の買掛金（商品代金）との相殺になります。